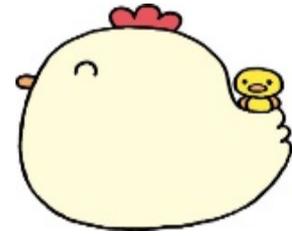




高田病後児保育所「ぬくみ」 掲示板



【11月のテーマ】 RS ウィルス

高田病後児保育所スタッフより

公園の落ち葉が赤や黄色、オレンジへ姿を変え、お散歩が一段と楽しい季節になりました。今月は冬季に流行しやすい『RS ウィルス』についてです。近年では夏季から流行し始める年もあります。

☆原因・症状

感染経路は飛沫感染と接触感染です。4～5日の潜伏期間の後咳・鼻水の症状が2～3日続き、徐々に咳がひどくなってゼイゼイ・ヒューヒューといった喘鳴を伴ったり、重症の場合は39～40℃の高熱が5日ほど続いたりします。初感染時や低年齢の児ほど重症化しやすく、全身状態・呼吸状態が悪い場合は、入院が必要になることもあります。

☆治療・予防

RSウィルスに対する特効薬はないため、症状を和らげる治療を行います。症状によっては、医師から気管支拡張剤などが処方される場合もあります。安静にしながら回復を待ちましょう。発熱や食欲不振による脱水にも注意が必要です。感染力が強いため生涯にわたり何度も感染し、家族間でも感染が起こりやすいです。家族で1人でも発症すれば全員がかかっていると考え、手洗い、うがい、咳エチケットなど対策をする必要があります。再感染時は、軽症であることも多いとされています。

☆ご家庭で気を付けてください

- ・鼻づまりや咳がひどい場合は、縦抱きにしてあげてください。
- ・空気の乾燥や冷たさにより症状が強くなりやすいので、部屋を加湿して暖かくしてください。
- ・水分摂取が重要です。咳がひどい場合はミルクや母乳の1回量を少なくし回数を増やしてください。

☆こんなときは速やかに受診を

- ・咳がひどくなり、ゼイゼイやヒューヒューの音が強く息苦しそうにしている
- ・水分摂取量が半分くらいに落ちる
- ・顔色が悪い
- ・発熱が5日以上続く

☆『登園・登校について』

熱が下がって元気であり、ゼイゼイなどがなく、食事が摂れていれば登園・登校できますが、お子さんが通われている園や学校にご相談なさってください。

